

管理所レビュー VOL.05

(R4.6.23 水源林管理所)

令和4年度、第5回のボランティア活動が、6月8日(水)に予定どおり実施されました。

当日は、最高気温14度、時折り小雨がぱらつく天候ではありましたが、最後まで間伐作業を実施することができました。

今回は涼しい日でしたが、今後は気温が上がってくると熱中症への対応が必要です。林内は風通しが悪く、長袖・ヘルメットを着用しているため、熱がこもりやすくなります。

引き続き、新型コロナウイルスの感染対策にも留意しながら、積極的な水分補給と適度な休憩を心掛け、熱中症を予防しましょう！

また、体調が悪くなった時は、すぐに周りの人に知らせ、管理所職員に報告をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 活動当日の様子



スッキリしない微妙な空模様。



準備体操をしっかりと！



気を付けて、いってらっしゃーい！



始まりの会で体調確認！



伐倒方向の検討！



チョークで正確な受け口作り。



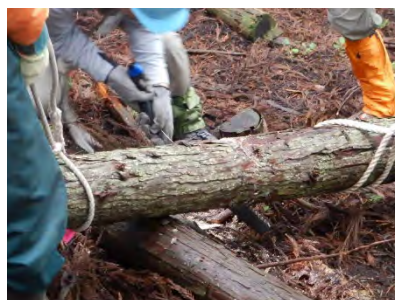
斜め切り、切り始めが肝心です。



安全な場所でロープを引っ張らなう！



材の転がり防止に補助ロープ！



材の状況によっては下切りを！



追い口が低くなっちゃうよ！



枝払いも注意して！

2 伐倒木の裂け上がりに注意！

今回の間伐作業中、ヒノキを伐倒しようとロープを引いたところ、受け口・追い口付近から上に向かって裂け上がり、追い口側に跳ね上がって落ちる事例が発生しました。

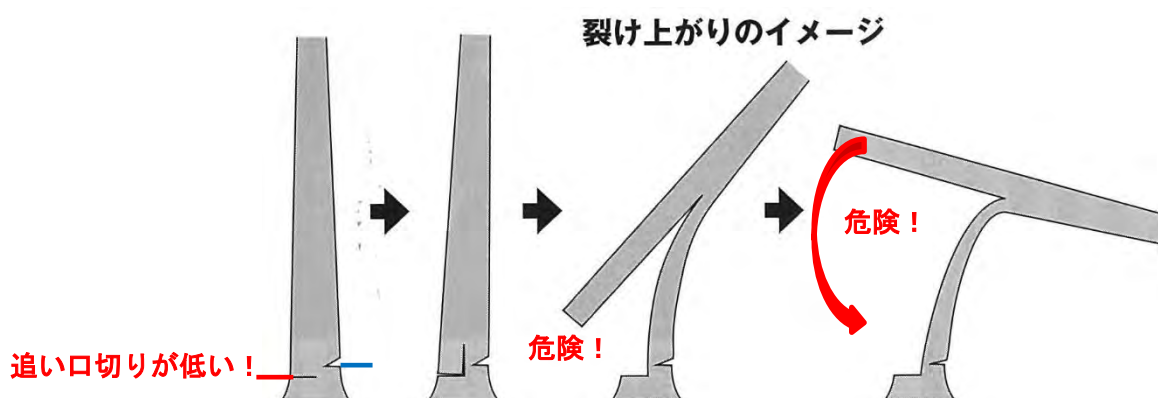
インストラクターが基本通りに安全を考慮し、参加者を事前に退避させていたため大事には至りませんでしたが、受け口が小さいこと、追い口切りの高さが受け口の下切りの高さと同等程度になっていたこと、切り残し（つる）が通常よりも大きい（厚い）状態で強引に引き倒したことなど、複合的な要因で起こったと考えられます。

幹が裂け上がる時、幹が落ちてくる時が大変危険です。

裂け上がりが起こる時は一瞬のため、急な退避は困難です。必ず伐倒前に安全な場所への退避を行ってください！

裂け上がりによる事故を防ぐため、

- ① 立木を観察して、立木の状態を把握する。
- ② 受け口を基本通りに切り、追い口の高さに注意し、切り残し（つる）を適正な大きさに残す。
- ③ 安全な場所への退避を確認し伐倒の合図（ホイッスル）をしてからロープを引いて倒す。
など、基本に忠実な作業を!!



3 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいる株式会社デッキ様が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするためのこの活動が、今後ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、ご協力ありがとうございました。



株式会社デッキ様。
(掲載許可済み)

※ 次回、6月25日（土）は、晴れ、最高気温 29 度の予報となっています。
熱中症に注意しましょう。

★それでは次回6月25日、気をつけてお越しください。